

平成24年度の予算が2月定例市議会で成立しました。釜井市長は、本年度の予算説明を通じ、市政運営の基本的な方針並びにその主要施策などについて所信の一端を述べ、市民の皆さんの市政に対する深いご理解とご協力をお願いしました。その趣旨は次のとおりです。



金や漁船などの物資が寄せられております。改めてお礼申し上げますとともに、今後長期にわたると予想される復興へのご支援ご協力を引き続き賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて、我が国は、現在、東日本大震災と福島第一原発事故の未曾有の国難に加え、欧州経済危機や歴史的な円高による経済活力の低下という難局に直面しております。

また、人口減少、少子高齢化、価値観やライフスタイルの多様化、財政の深刻化など日本の社会構造は、大きな転換期を迎えており、地域社会も様々な面で変換が迫られております。

こうした時代に対応するためには、「変革と創造」を基本に、将来を的確に見据え、常にコスト意識とスピード感を保持して、市民の皆様が望まれるサービスを提供することが重要と考えております。

同時に、これまで以上に地域間競争が激化する中においては、地域の資源や特色を有効に活用しながら、市民の皆様一人ひとりの力や地域の絆を高め、その持てる力を最大限に発揮し、魅力ある地域づくりに取り組んで行かなければなりません。

このため、本年度は、豊前市の新しい羅針盤となります第5次豊前市総合計画を策定してまいります。1月に公募委員を含む28人の委員で構成される第1回豊前市総合計画審議会を開催しましたが、それに先立ち地区懇談会やワークショップなどを開催し、多くの市民の皆様からまちづくりについて、提案・提言等をいただいております。

政状況は、今後も更に厳しさを増すものと推測されますが、こういう時期にこそ明確なまちづくりのビジョンを持ち、知恵を出し、工夫を凝らさなければなりません。これまで築き上げてきた行財政改革、産業振興、市民協働といった市政運営の土台に立ち、市民の皆様の参画と協働の下で、全職員一丸となつて、全庁横断的に問題意識や課題を共有しつつ、市政運営に精一杯取り組んでまいりる所存でございます。

催を予定しております。

医療・健康ゾーンにつきましては、複合施設として成人病検査センターや休日急患センター等が豊前築上医師会によつて整備される予定であります。また、向原池周辺は健康づくりや憩いの場として公園整備を進めてまいります。

市ではこの地区を、豊前市全体を好循環に導く「エンジン」として位置づけ、さらに、市内全域を「豊前市コンパクトシティ総合特区」として国に総合特区の申請を行い、今後、自立可能なまちづくりへ進化、発展させてまいりたいと考えております。

2点目は、少子化・人口増対策についてであります。

これまで少子化・人口増対策につきましては、市の最重要課題として取り組んでまいりましたが、人口減少に歯止めがかからない状況が続いております。

このため、これまでの事業を精査・検証し、新たな取り組みを進めるなど、少子化・人口増対策に一層力を注いでまいります。

昨年12月に、平成23年の世相を漢字一字で表す「今年の漢字」が、「絆」に決まったとの報道がございました。この漢字に表わされるように、昨年を振り返りますと、3月11日に東日本を襲った未曾有の大災害は、まさに国難というべき事態であり、日本全体の危機管理と防災のあり方について考えさせられるとともに、改めて、人と人との「絆」や「地域の支え合いの大切さ」を、誰しもが感じた年であったと思っております。

本市でも、市民の皆様や事業者の皆様から多くの義援

具体的な施策として、今年開設をしました空き家バンクに続き、市内の民間賃貸住宅に入居する新婚世帯に対して家賃の一部を助成する制度を創設いたします。空き家や民間賃貸住宅を地域の有力な資源として捉え、積極的に活用して定住促進と活力あるまちづくりを推進してまいります。

さらに、不妊治療費の助成事業の創設、子育て支援の充実、特色ある教育環境の整備、宅地分譲や公営住宅の魅力向上など総合的な対策を講じてまいります。

3点目は、固定資産税の引き下げ効果についてであります。本年度は、昨年度実施した固定資産税の減税効果が現れる年と考えております。本市へ多くの人々を呼び込むための集客促進、都市活力の源泉となる子育て世代の定住促進とともに、定住人口の増加、雇用確保に大きな効果がある企業誘致を積極的に推進してまいります。

具体的には、今後開通する東九州自動車道を見据え、小

石原工業団地の拡張事業を推進するとともに、次期開発予定地の選定に向け工業団地適地調査を実施するなど、雇用の創出に向け、切れ目なく取り組んでまいります。

また、こうした取り組みの他、本市の魅力を上させる政策を推進することで、投資を呼び込み都市活力の向上と地域産業の振興を図り、将来の市税収入の増加につなげてまいりたいと考えております。

次に、こうした重要課題に対する施策に加え、本年度の主要な取り組みについて申し上げます。

### 安全安心なまちづくり

昨年起こった東日本大震災は、決して対岸の火事ではなく、いつ、この地域にも災害が襲ってくるかも知れないという教訓を与えてくれました。市としても改めて地域防災計画の見直しを行い、市民皆様の生命・財産を守るべく災害対策の強化に努めてまいります。

そのために、喫緊の課題と

なっております市民への防災情報や行政情報を迅速に周知するための防災行政無線の整備につきましては、国の平成23年度第3次補正予算を活用し、1年前倒して平成24年度末の運用を目指し整備を進めることとしております。

また、昨年、津波被害を教訓に地震や津波の発生を想定した初の防災訓練を市役所周辺で実施いたしました。今後も継続して取り組んで行くとともに、地区単位の主防災組織の育成に努めてまいります。また、避難の目安とするため公共施設に海抜表示板を設置してまいります。



防災訓練

### 健康・福祉の充実

高齢者福祉・介護予防につきましては、これまで地域社会を支えていただきました高

齢者の方々が、今後住みなれた地域で、いきいきと暮らし続けていくことができるまちづくりを進めていくことが重要であります。

そのための仕組みとして、本年4月から福岡県介護保険広域連合豊築支部で行なっていた地域包括支援センター事業につきましては、それぞれの自治体で実施することになります。より身近でその機能を最大限活用し、要介護状態の防止あるいは要介護度の重度化防止のため、介護予防事業の取り組みを強化してまいります。

障害者福祉につきましては、障害があっても生きがいを持ちながら安心して暮らすことができるよう、障害者福祉計画等に基づき、地域の関係機関と連携しながら自立支援給付サービスや相談支援事業の充実に努めてまいります。

子育て支援につきましては、安心して子どもを産み育てることができるよう、乳幼児・子ども医療の助成や妊婦一般健康診査の公費助成を継続し、子育て世帯の負担の軽

減を図ってまいります。また、放課後児童対策につきましては、新たに横武小学校区に放課後児童クラブを開設いたします。

医療・保健につきましては、自分の健康は自分で守るといふ基本理念のもと、生活習慣病などの疾病予防や各種健康診査などに取り組むほか、国に準じて、子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌のワクチン接種を引き続き実施してまいります。

### 産業の振興

最初に、観光につきましては、地域の景観資源を地域産品の付加価値向上や観光客の増加に活かすなど、地域の活力が景観によって活かされるまちづくりを推進してまいります。

このため、今年4月より本市の景観計画地域を市内全域に拡大いたします。さらに、景観形成の重点地区となつている求菩提山周辺を文化財保護法に基づく重要文化的景観地区として文化庁から選定を受けるべく準備を進めてまいります。

また、市の特徴ともいえる豊かな自然、山林を活用した「森林セラピー基地」の認定に向けて、実証実験にも取り組んでまいります。地域のブランド化を図るとともに、農村民泊などグリーンツーリズムの取り組みと相まって市の活性化につなげてまいりたいと考えております。

**農林水産業**につきましては、これまで豊前本ガ二、豊前海一粒かき、豊前棚田ゆず、三毛門かぼちゃなどのブランド化を支援してまいりましたが、新たな取り組みとして豊前茶のペットボトル化を支援してまいります。

また、築上北高跡地に開設されるJAふれあい市場を地産地消、6次産業化の拠点施設として位置づけ、一次産業を地域で支える仕組みを作ってまいります。

**商業**につきましては、中心商店街と築上北高跡地との共存共栄を図るため、プレミアム商品券やTMO事業などを活用しながら、中心市街地への交流人口の誘導と賑わい創出に向けた取り組みを進めてまいります。

**都市基盤の整備**

**都市基盤の整備**は、JR宇島駅から市役所を結ぶ周辺においては、多様な都市機能の集積やまちの賑わいの創出が求められております。

JR宇島駅につきましては、エレベーターの整備に続き、宇島駅を南北につなぐ自由通路等整備事業の完成を目指してまいります。

**築上北高跡地**につきましては、向原池周辺の公園化や二葉水路の改修を図るとともに、この地区が市民に親しまれ、多くの人に利用される施設となるよう愛称を募集することとしております。また、上町・沓川池線街路事業につきましましては、旧図書館から八屋・荒堀線までの区間の用地買収を進めてまいります。

**住宅政策**につきましては、今年度から薬師寺宅地分譲地の販売を開始するとともに、新たに県営三葉住宅跡地の造成事業に取り組んでまいります。また、長寿命化計画に沿って公営住宅や都市公園の長寿命化対策を進め、施設の魅力向上にも努めてまいります。

**東九州自動車道の建設並びにインターチェンジと10号線**

東九州自動車道の建設並びにインターチェンジと10号線を結ぶアクセス道路の整備は工事が市内各所で順調に進んでおります。また、市内各地域間を結ぶ道路網の整備につきましましては、道整備交付金事業に替わり社会資本総合整備交付金事業により4路線の整備に取り組んでまいります。

**環境**への取り組みにつきましては、市民の皆様の地球温暖化防止への意識の高揚を図り、その取り組みを支援するため引き続き太陽光発電システムを導入する住宅に対して、その設置費の一部を助成してまいります。また、防犯灯につきましましては、環境にやさしいLED灯への転換を促進するとともに市庁舎におきまして一部導入を進めてまいります。

**教育・文化の充実**

**教育環境の整備・充実**につきましては、新たな取り組みとして、プロの演奏家等を招いて子ども達に本物の芸術体験を提供する「学び支援事業」を各小学校で実施するこ

ととしております。また、小規模特認校における特色ある教育活動の充実に努めてまいります。

施設整備につきましては、平成23年度ですべての小中学校の耐震診断が終了します。その結果、一部耐震化工事が必要となっており八屋小学校につきましましては、国の3次補正予算を活用し、校舎の改修、改善事業と併せて実施することとしております。今後は施設の長寿命化、省エネ、トイレの改善等を中心に計画的な整備を進めてまいります。なお、今年度は千束中学校の改修設計費を措置しております。

**社会教育**につきましては、宇島公民館の駐車場整備と千束公民館の改修工事を進めてまいります。また、体育施設につきましましては、市体育館の耐震、漏水などの調査、設計費を措置するとともに、能徳運動公園の駐車場整備を行うこととしております。

**行財政改革の推進**

行財政改革につきましては、平成22年度から自主的に

取り組んでおります。また、小規模特認校における特色ある教育活動の充実に努めてまいります。

施設整備につきましては、平成23年度ですべての小中学校の耐震診断が終了します。その結果、一部耐震化工事が必要となっており八屋小学校につきましましては、国の3次補正予算を活用し、校舎の改修、改善事業と併せて実施することとしております。今後は施設の長寿命化、省エネ、トイレの改善等を中心に計画的な整備を進めてまいります。なお、今年度は千束中学校の改修設計費を措置しております。

以上、申し上げてまいりましたとおり、今年度は豊前市が大きく飛躍する「まちづくり」のための、大切な1年となると考えております。

私を先頭に職員共々一丸となつて、全力でこれに取り組んでまいりますので、市民の皆様のお一層のご指導と温かいご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



森林ロード